

# インスリンポンプ・持続グルコース測定器を 装着されている方へ

インスリンポンプ・持続グルコース測定器は、放射線検査（胸部X線・胃部X線・CT・マンモグラフィー・骨密度検査・PET-CT等）、MRI検査を受ける際には取り外していただく必要があります。

**取り外しできない場合は原則検査中止となります。**

X線照射やMRIの磁力などの影響により、インスリンポンプ・持続グルコース測定器に機能障害、誤動作が生じる危険性があります。また、MRI検査では磁力の作用により、センサー内の針が人体に損傷を招く危険性があります。

測定器を取り外していただくことで問題なく検査できますが、規定の装着期間内に取り外すと装置本来の目的が無効になることもあるため、事前にご相談ください。

ご不便をおかけいたしますが、安全のためご理解賜りますよう、お願いいたします。

